

みんなの大和NEWS

<発行部数 7750部>

発行/中野区大和区民活動センター運営委員会
編集/みんなの大和NEWS編集委員会
住所/〒165-0034 中野区大和町 2-44-6

TEL/03-3339-6125 FAX/03-3339-6126
集会室予約/03-3339-6141
Email/nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp



アブラゼミ



皆さんに、大和町は感謝しています!

<社会福祉法人 中野あいいく会>

杉の子 大和

いつも
ありがとうございます
ご愛読します

これからも
頑張って
くださいな



今後も、大和地域に根ざした活動を続けていきます。



社会福祉法人中野あいいく会
杉の子大和所長
岡田一樹さん

第三杉の子作業所時代から、地域の皆様とのつながりが強く、皆様に支えられながら今年で35周年を迎えます。平成21年4月障害者自立支援法に基づき、第三杉の子から杉の子大和へ名称が変わりました。普段から地域の皆様方に温かく見守って頂いているお陰で、利用者さん達は地域の中で安心して過ごす事が出来ています。本当にありがとうございます。また、日頃より資源回収のお声かけをして頂き、ありがとうございます。資源回収の連絡が入ると、利用者さん達は喜んで回収に行ってくれています。引き続き段ボールや新聞等が溜まりましたら、事業所の方へ連絡又はお持ちください。宜しくお願致します。

●杉の子大和の理念

利用者さんは、男性12名・女性8名の計20名で活動しています。職員は常勤4名・非常勤5名の計9名で、日々の支援を行っています。

事業所の理念は、①作業を通して働く喜びを味わい、社会的自立を目指す。②日常生活支援を通して、身辺自立や健康な体を維持する。③集団行動において、協調性を養う。④文化的活動を通して、視野を広げる。を掲げています。

●日々の活動

区から委託されている公園清掃と、地域の方から委託を受けている、防災公園を週一回から二回清掃をしています。その内5月・7月・9月は除草月間として、それぞれの公園内の除草もしています。公園の他に、児童館清掃も請け負



公園の清掃活動

杉の子大和と西部自治会



大和町西部自治会
会長 伊藤英男さん

杉の子大和は、西部自治会の大和町三丁目にあり、その建物には昭和60年代まで、今の大和区民活動センターが入っていました。杉の子大和の特に目に付く活動は、毎日清掃道具を持ち、リヤカーを引いて、町内の公園を廻って行っている清掃活動です。この清掃が行われている各公園は、いつもきれいな状態で、気持ちの良い公園となっています。

っており、砂場の掃除や雨水マス・U字溝の掃除も行っています。清掃の他に、子供向けの付録セット作りや、チラシの封入や折り、台紙に両面テープを貼る作業などに取り組んでいます。

●利用者さんの楽しみ
利用者さん達が、毎日頑張っていて取り組んでいる作業が工賃となり、一人ひとりに毎月支給しています。もらった工賃でゲームを買う人、好きな雑誌を買う人、好きな人形を買う人などそれぞれですが、工賃日は皆さんにとっても楽しみの日となっています。

●文化活動

作業以外に文化活動として月一回、クラブ活動を行っています。お茶クラブ・卓球クラブ・絵画・クッキング(現在は他の内容で活動中)・何でもチャレンジクラブがあり、活動しています。お茶クラブでは、お茶会を通じて地域の皆様との交流を図っていますが、現在はコロナウイルス感染拡大により、地域の方々との交流や事業所内での余暇活動を行う事が出来ていません。今の状況が落ち着いたら、作業だけではなく、皆さんと楽しい時間を過ごせたら良いなと思っています。これからも、杉の子大和をどうぞ宜しくお願い致します。



地域の人が参加するお茶会

安心で安全な大和北公園



大和東保育園
園長 高邊綾乃さん

子供の生活にとって、外遊びは大切な時間です。大和北公園は、大きなイチョウの木のほか木々や草花もあり、自然探索には大きな魅力です。公園には、いつも清掃をしてくださる杉の子大和さんの存在があり、公園を出て安全に遊べるように、声掛けをしてくださいます。「未来を担う子供たちの育ちを支えてくださり、ありがとうございます。」



自主生産品の、杉の子たわし(左)と、布ぞうり(右)



田中ナースリー大和保育園「やまと夏まつり」

7月15日(木) 本来なら地域の方々も参加する、園にとって歴史のある「やまと夏まつり」ですが、コロナ禍のために園児だけで行う午前と、保護者も参加する午後に分けて開催されました。

《午前の部／おまつりごっこ》ぞう組(5歳児)のみみんなで考えた“てづくりおみせ”には、焼きそば屋・かき氷屋・アクセサリー屋がお店を出し、地下ホールにはマト当てと魚釣りが用意されました。お店の商品もゲームもぞう組の手作りで、売るのもぞう組さんたちでした。4歳以下の園児たちが交代でお店に来て、もらった手作りの商品を、嬉しそうに抱えていました。部屋を出るときには、ぞう組さんたちに向かって「ありがとうございました！」と、声をそろえてお礼を言う微笑ましい光景が見られ、異年齢交流を楽しんでいました。



《午後の部／やまと太鼓・盆踊り》保護者も集まった16:00には、伝統の“大和太鼓”で幕を開け、それぞれの太鼓の前には、はっぴを着たぞう組が並びました。先生たちの吹く“しの笛”の音と、“しめ太鼓”のリズムに合わせて、順番に交代で太鼓をたたき、保護者の方々から大きな拍手をもらいました。続いては、浴衣や甚平に着替えた幼児クラス(3歳～5歳)の盆踊りが始まりました。先生が叩く太鼓を真ん中に、クラス毎に輪になって踊り、2階のテラスからは0歳～2歳の乳児が保護者さんと一緒に、手拍子で応援していました。コロナ禍に負けず、無事に「やまと夏まつり」の歴史を守った園児たちの笑顔は輝いていました。



にじいろ保育園中野野方「夏まつり」

7月16日(金) 幼児クラス(3歳～5歳)の「盆踊り」で「夏まつり」の幕が開きました。全員がはっぴ姿で、一生懸命踊る子や照れて踊らない子など、微笑ましい“盆踊り”を見せてくれました。続いて、縁日を再現したお店屋さん、ゲームコーナーが用意されました。お店は園児たちの手作りの、たこ焼き屋・かき氷屋・イカ焼き屋が並びました。「園児たちの作りたい気持ちを、大切にしました」と先生が話してくれました。ゲームコーナーには、マト当て・ワニ叩き・ヨーヨー釣り・金魚すくいが用意され、園児たちは、お店屋さんで買い物をしたり、ゲームに熱中したりの楽しい時間を過ごしました。フィナーレは、場所を屋上に移して幼児クラスの“おみこし”です。これも3クラスそれぞれの手作りです。「ワッショイ、ワッショイ」の元気な掛け声が梅雨明けの空に響き、園児たちの顔には、ガンバリ汗が光っていました。みんな頑張ったね！



ご報告します。

コロナ禍の東京オリ・パラは終わりましたね。緊急事態宣言が延長されても、大和町の元気な子供たちの活躍は、嬉しいです！

やはた幼稚園「サマーバレエコンサート」

やはた幼稚園では、毎年七夕の時期に、園児とご家族を対象に「サマーコンサート」を開催し、古今東西の楽器やダンスなどのプロの方に演奏・パフォーマンスをしていただいています。今年は、7月7日(水)に元東京バレエ団の永田雄大さんらをお招きしました。「寝る」「お腹が減った」などのバレエでの仕草を教えてもらったあと、職員を交えての「赤ずきんちゃん」のプチバレエでは大きな拍手が起こりました。そのあと子供たちや保護者も交えて、ピアノの生演奏に合わせて美しくポーズ。手足をピンと伸ばし背筋も伸ばすため、身長が高くなった気がします、との感想も。今後も本物に触れてもらう機会をたくさん設けたいと思います。(龍太郎先生)



田中ナースリー大和保育園「七夕まつり会」

7月7日(水) 天の川が見られないお天気でしたが、園内ではぞう組(年長)、きりん組(年中)の園児たちと合同で「七夕まつり会」をしました。ピアノ伴奏に合わせて元気に「七夕の歌」を歌い、歌声が天まで届くようです。「七夕のお話」の絵本では、みんなが知っている『おりひめとひこぼし』のお話しを、真剣に聞いていました。園長先生のお話で、七夕の歌に出てくる“五色の短冊”について、子供たちと一緒に考えてみました。ちなみに色の意味は、白は平和、赤(ピンク)は家族、黄色は友情、青は優しさ、黒(紫)は仕事・勉強、だそうです。「家族みんな、仲良く元気で暮らせますように」との願い事は、赤(ピンク)の短冊に書くと良いそうです。

毎年、園庭の笹を切り出してつくる笹飾り。子供たちと保護者の方々の短冊には、たくさんの願い事が書かれていました。友だちの願い事を知ったり、自分のお願い事を聞いてもらったり…中には保護者の方が思わず笑ってしまいそうなお願い事も…みんなで嬉しそうに楽しむ姿が見られました。小雨が止み、お日様が出てきた園庭で、園児たちは短冊が飾られた笹の前で、笑顔の写真を撮りました。みんなの願いが叶いますように！



染終息のメドが立たないため、**大和地区まつり」も中止にさせていただきます。**

残念です！



おうち保育園なかの大和「夏祭り」

“日本の伝統行事の雰囲気、園児たちを楽しんでもらう”という園の保育方針のもと、8月13日(金)に「夏祭り」が行われました。全員が浴衣と甚平に着替えて、最初は「スイカ割り」。園児たちが一生懸命スイカを叩いても、なかなか割れません。先生に替わってやっと割れたスイカで、みんなが待っていたおやつタイムです。

次に、紙で作ったタコ焼きを売る「屋台遊び」と、おもちゃの金魚を使った「金魚すくい」が用意され、二組に分かれた園児たちは交代で挑戦しました。0～3歳の園児全員が楽しめて、ニコニコ顔のあふれる「夏祭り」でした。



大和西児童館「手づくり工房」

8月4日(水)手づくり工房「ダーラナホースのミニリース」の行事を、地域の高倉さんに教えていただき行いました。スウェーデンの幸せを呼ぶ馬「ダーラナホース」を自分の好きな色に色付けし、マーカーでオリジナルの模様を描きます。初めてのアクリル絵の具の調合や、大好きなキャラクターや国旗など、繊細な模様を描く子供たちの姿は真剣そのものでした。ミニリースに、葉や花・木の実の装飾をし、最後にダーラナホースを飾り完成！世界に一つだけの作品が出来上がりました。教えてくださった高倉さん、ありがとうございました。ミニリースの作品は、地区まつりの作品展で、フォト展示を予定しています。ぜひご覧ください。(藤村)



コラム「私のお楽しみ」⑦ Porkyさん (大和町在住)

植物と戯れ、自然に浸る。

大和町に引っ越してきて13年近くになります。ここでは、歩いて行ける距離に公園が多く、少し足をのばせばいくつもの都立公園や神宮の杜にも行けるので、天気の良い休日には夫婦で散歩を楽しんでいます。

ウォーキングしながらの植物観察が楽しみの一つ。それをさらに面白くしてくれるのが、スマホアプリ。よく見かけのけど名前までは知らない草花、足元のコケ類、そして初めて見るナニコレ？植物。これを写真に撮るだけで、名前・学名・科目・原産地までも教えてくれる優れもの。そして、帰ってからは歩数計も必ずチェック。

先日、哲学堂公園で不思議な形の種？を見つけたので、拾ってきて、あえて調べずにプランターの土へ。さて、どんな



芽が出て何に成長するのか。そもそも、種だったのか？発芽を心待ちに観察するのが、今冬の楽しみのタネです。

♥私のおすすめスポット♥

国立科学博物館付属自然教育園、白金台。都内であることを忘れてしまうほどの、静かな時間と豊かな自然を満喫できます。



*皆さんの「お楽しみ」原稿をお待ちしています。応募ご希望の方は、事務局へご連絡ください。

当センターのホームページに「大和町の防災」コーナーを新設しました。

大和地域には「洪水予報河川」の妙正寺川が流れ、都内でも高リスク地域にランクされています。「大和町の防災」コーナーでは、お住いの地域の防災部・防災会の活動や、避難場所についてお知らせしています。万一の場合の備えにお役立てください。

*ホームページ上にある、このバナーをクリックしてください。

大和町の防災

田中ナースリー大和保育園「年長特別プログラム」 「ワイワイたのしく友だちになろう！」

毎年、年長さんが参加している特別プログラムが今年も8月6日(金)に開催されました。今回は姉妹園の田中ナースリー若宮保育園の年長さんと一緒に行く予定でしたが、緊急事態宣言中のため別々に行くことになりました。タイトルのスローガンや、当日何をやりたいかといった案を出すのも「ぞうぐみ会議」をして、子供たちが中心になって計画準備を進めてきました。みんなでお揃いの染めTシャツを作ったり、家づくりではグループごとにどんな家にするか絵を描いたりして、活動してきました。

17:00頃に、ぞう組みんなが段ボールで作った、7つの家が園庭に引き出され、その家の周りに座って、待ちに待ったカレーの食事タイムです。午前中には、野菜を切ってカレー作りのお手伝いもしたそうです。全員がお代わりをし、すぐにカレーは売り切れになってしまいました。部屋に戻ってペンダント作りを進める中、二人ずつペアになって、ランタンを持ちながら屋上へ宝探しにも挑戦しました。オバケやオニがいるかも・・・と聞いて、最初は怖がる園児もいましたが、戻ってきた時は「楽しかった」とニコニコ顔でした。

19:00が近づき、フィナーレの「花火」が始まりました。先生たちが花火の説明をしながら次々に点火していくと、園児たちから大きな歓声が上がリ、最後は全員の拍手で“年長特別プログラム”は幕を閉じました。お迎えに来た保護者と一緒に帰る園児たちの顔は、充実感で輝いていました。



新形コロナウイルス感染症
今年の「<第46回>大

「<第8回>中野区検定」

後援/中野区・中野区教育委員会

- 日時/令和3(2021)年11月28日(日)
- 場所/中野区産業振興センター
(中野区中野2-13-14)
- 内容/中野区に関する歴史・地理・文化・産業などから出題
 <一般の部>50問、60分、年齢制限なし
 <ビギナーの部>
 30問、45分、年齢制限なし
 *一般で受検し高得点者は「ものしり博士」と認定
- 申込期間/10月1日~11月15日
- 受検料/検定実施日に支払い
 <一般>1,500円(高校・大学・専門学校生1,000円、小・中学生500円)
 <ビギナー>300円
- 申込方法/FAX・メール・郵送・電話で、下記中野区教育振興会にて
- 過去問題集(6年分、350円)の販売も行っています。区役所1階福祉売店・中野区立教育センター1階
- 主催・問合せ先/
 公益財団法人 中野区教育振興会 中井
 TEL/3228-5544 FAX/3385-9319
 メール/bz720662@bz03.plala.or.jp

YAMATO GALLERY

大和ギャラリー

■大和区民活動センター1階ホール

展示予定

- 9月25日(土)まで
「大和町まほろば“2012年の大和町/編”」
- 9月27日(月)~10月30日(土)
「大和地区まつり/過去の思い出」
- 11月1日(月)~27日(土)まで
「<第8回>伊望会書画展」

大和ギャラリーでは、地域に住む方や活動しているグループの作品を展示します。「出品申込書」をご提出ください。

もし、災害で被害に遭ったら...

大和区民活動センターに、ご相談ください。
 被害に対する、適切な対応にご協力いたします。
 ☎(3339) 6141



伝言板

新型コロナの状況次第では中止になる場合もあります。館内ポスター・ホームページ・事務局でご確認ください。

■問合せ/大和区民活動センター運営委員会事務局
☎(3339) 6125 Email:nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp

健康体操カトレア

- 毎月第1月曜日は「みんなでワイワイ」(無料)*10月・11月はポッチャです。
 ●時間/13:30~15:30
 ●会場/センターレクホール
 講師/長野誠先生(スポーツボランティア)
- 毎月第3月曜日は「椅子を使った体操」(無料)*9月は13日(第2月曜)です。
 ●時間/13:30~15:30
 ●会場/センター集會室
 講師/山本明子先生(中野区トリム体操連盟会長)

<まちなかサロン>傾聴サロンやまと

- 傾聴ボランティアと、楽しいおしゃべり!
- 開催日時/毎月第1木曜日(予約不要・祝日休み)13:30~14:30
 - 会場/センター2階洋室2・3号室
 - 参加費/200円(ドリンク・茶菓子)

60歳以上の方にマッサージ 三療サービス

- 日時/毎月第3木曜日 09:30~
- 場所/センター3階 和室1・2号室
- 費用/900円(45分)
 受付は当日09:00から電話受付のみ。先着14名様に限らせていただきます。日本手拭2本を持参してください。

大和区民活動センターでの《コロナワクチン接種》スケジュール

接種できるのは「接種コールセンター」や「予約サイト」で予約をされた、中野区在住の方に限ります。大和区民活動センターで予約はできません。

■予約・問合せ/接種コールセンター ☎0570-03-5444 (09:00~19:00)

一般向け接種スケジュール

(接種日の空き状況による)

9月24日・25日・26日

- 接種時間/10:00~17:00頃
- 受付場所/2階洋室1号
- 接種場所/2階洋室2号
- 待機場所/2階洋室3号

「園での実体験を通して、子供たちの生きる力と自己肯定感を育てる」を理念に、研究・実践される門脇さんに、未来へ羽ばたく子供たちへの想いを感じました。



みんなで育てたミニトマト



園児たちに英語のレッスン

子供たちの、生きる力を育てる体験教育

大和の マイ★スター 51

ポッコも泥んこ遊び大好きですー!

門脇薫子さん(大和幼稚園副園長)

門脇薫子さんは大学を卒業後、企業に勤務。その後、英国国立ニューキャッスル大学大学院教育学部幼児教育学科で教育学修士を取得後、ヨーロッパや北欧の国々の幼児教育を視察されました。ヨーロッパの幼児教育は「児童中心型保育」という子供主体の保育を実践し、子供たちが自由に自分のしたい遊びを、自ら選択して選べる環境を作っていて感銘を受けたそうです。帰国後、祖母が設立した大和幼稚園でも同じ環境を取り入れようと、造形・おままごと・構成遊び・変身など、様々なコーナー設定をしたところ、園児たちは主体的に遊んでいます。イタリアのレッジョ・エミリア市で実践している、子供の興味・関心を大切にしているプロジェクト型の協同的活動も取り入れています。以前から実践している造形活動や音楽活動も盛んですが、それにプラスして土や水に触れる活動や、園庭の畑や田んぼでの野菜や果物の栽培・収穫・料理の食育体験も大切にしています。「野菜作りをすると、子供たちは『自分たちが作ったから美味しい!』と言って、嫌いだっただ野菜も食べてくれます」。都会では中々できない泥遊びは、菌に対する耐性も育つそうです。

「園での実体験を通して、子供たちの生きる力と自己肯定感を育てる」を理念に、研究・実践される門脇さんに、未来へ羽ばたく子供たちへの想いを感じました。

門脇薫子さん(大和幼稚園副園長) 広い園庭と緑豊かな環境で、創立85周年、卒園児は1万人を超える、大和幼稚園の副園長の門脇薫子さんにお話を伺いました。

門脇さんは大学を卒業後、企業に勤務。その後、英国国立ニューキャッスル大学大学院教育学部幼児教育学科で教育学修士を取得後、ヨーロッパや北欧の国々の幼児教育を視察されました。ヨーロッパの幼児教育は「児童中心型保育」という子供主体の保育を実践し、子供たちが自由に自分のしたい遊びを、自ら選択して選べる環境を作っていて感銘を受けたそうです。帰国後、祖母が設立した大和幼稚園でも同じ環境を取り入れようと、造形・おままごと・構成遊び・変身など、様々なコーナー設定をしたところ、園児たちは主体的に遊んでいます。イタリアのレッジョ・エミリア市で実践している、子供の興味・関心を大切にしているプロジェクト型の協同的活動も取り入れています。以前から実践している造形活動や音楽活動も盛んですが、それにプラスして土や水に触れる活動や、園庭の畑や田んぼでの野菜や果物の栽培・収穫・料理の食育体験も大切にしています。「野菜作りをすると、子供たちは『自分たちが作ったから美味しい!』と言って、嫌いだっただ野菜も食べてくれます」。都会では中々できない泥遊びは、菌に対する耐性も育つそうです。